「地域密着型金融の推進に関する取組み状況」について

2019年度上期

2019年11月29日
群馬銀行

目次

1.　地域密着型金融の取組み方針　・・・・・・・　1

2.　顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

（１）ライフステージ別の主なコンサルティング機能　・・・・・・・　2

（２）創業・新事業支援への取組み　・・・・・・・　3

（３）成長段階における支援への取組み　・・・・・・・　6

（４）金融円滑化と経営改善支援への取組み　・・・・・・・　14

（５）事業承継への取組み　・・・・・・・　15

3.　地域の面的再生への積極的な参画

（１）地方創生への取組み　・・・・・・・　16

（２）事業性評価に基づく最適なソリューション提供　・・・・・・・　17

（３）地域と一体になった地域活性化への取組み　・・・・・・・　18

（４）地域活性化につながるビジネスマッチング情報等の提供　・・・・・・・　20

（５）人材育成への取組み　・・・・・・・　21

4.　地域や利用者に対する積極的な情報発信　・・・・・・・　22

１．地域密着型金融の取組み方針

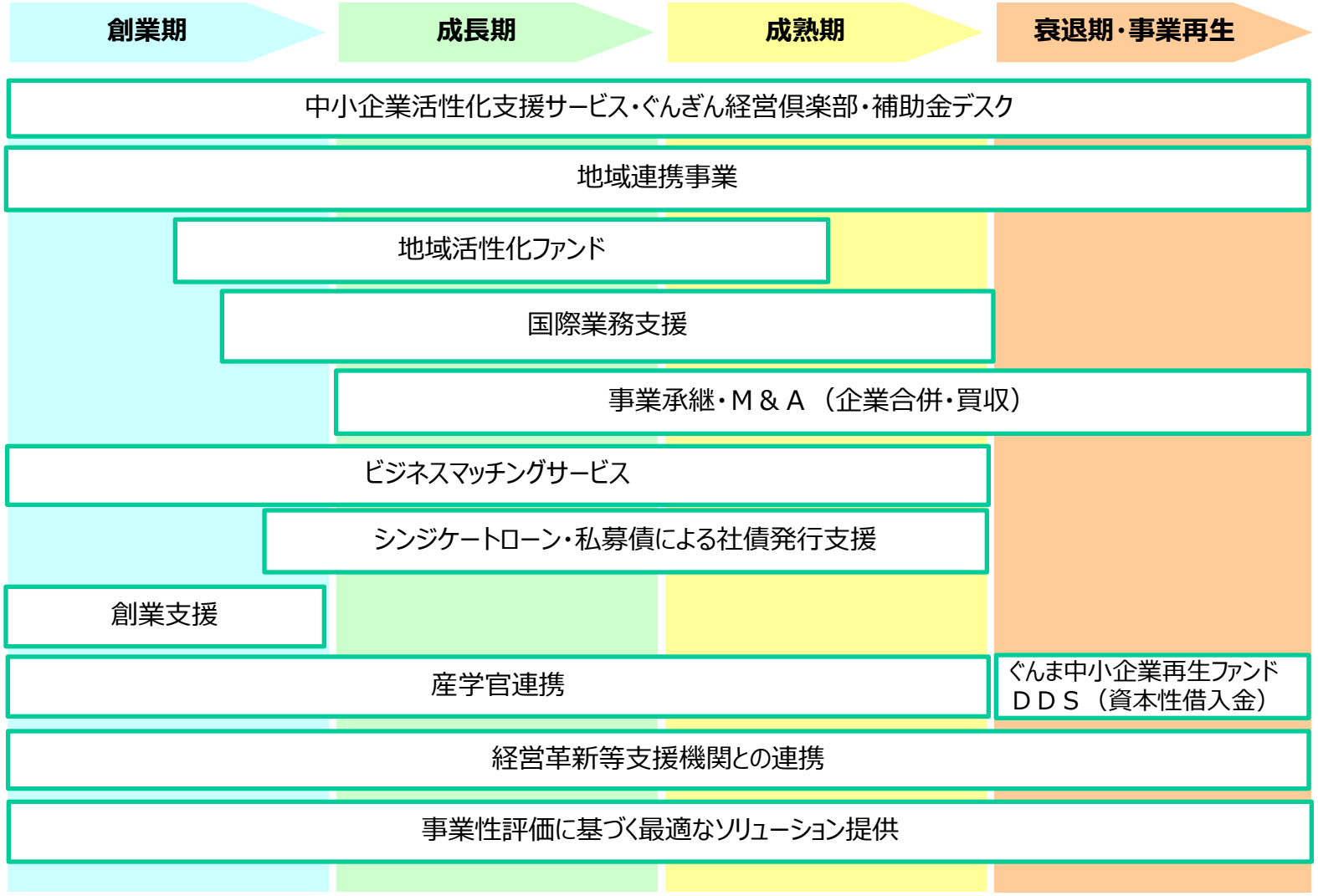
○ 当行は「企業理念」に、「地域社会の発展を常に考え行動すること」、「お客さまとの創造的な関係を深めること」を掲げており、「地域密着型金融の取組み」は、「企業理念」の考え方に沿ったものといえます。

○ 2019年4月よりスタートしている、「2019年 中期経営計画『Innovation 新次元』～価値実現へ向けて～」（計画期間 2019年4月～2022年3月）においても、めざす企業像として「金融サービスの革新により、お客さまニーズに応え、価値を実現する地域金融グループ」を掲げており、本計画を着実に遂行することこそ、「地域密着型金融の取組み推進」につながるものと考えております。また、「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」の達成に向けた取組みを推進するため、2019年2月に制定した「群馬銀行グループＳＤＧｓ宣言」に沿った取組みでもあります。

○ 2019年中期経営計画の諸施策は、2014年12月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における地域経済活性化の取組みにも合致するものであり、地域資源を活用した事業化、生産性の向上、再出発に向けた環境整備など様々なライフステージにある企業の課題解決を支援し、「地方創生」に積極的に貢献してまいります。

２．顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

（１）ライフステージ別の主なコンサルティング機能



（２）創業・新事業支援への取組み

創業支援への取組み実績

創業支援の内訳	2019年度上期
融資実行	259件
グループ会社の活用※	56件

※ぐんぎんリース、群銀カードの商品活用

ドクターサポートローンの取扱い実績

ドクターサポートローンは、成長分野である医療業の新規開業等に活用できる融資商品となっております。

内訳	2019年度上期
件数	102件
金額	2,248百万円

自治体との連携

○2019年2月12日第6回群馬県創業支援連絡会議へ出席し、群馬県の創業環境向上に向けた施策について協議と意見交換を行いました。
○2019年6月19日、前橋市主催「前橋市創業支援塾」へ講師を派遣いたしました。

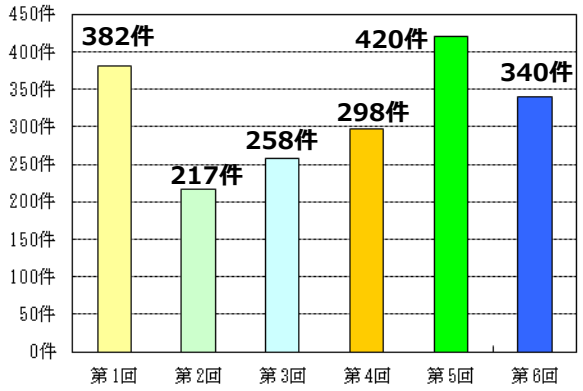
ぐんぎんビジネスサポート大賞の実施

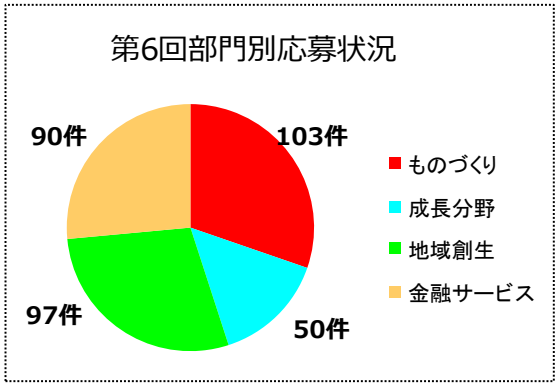
2013年度より、地方創生、地域経済の活性化、地域貢献を図るため「ぐんぎんビジネスサポート大賞」を実施しております。
第6回目の今回は、「ものづくり部門」「成長分野部門」「地域創生部門」「金融サービス部門」の4部門で募集を行いました。

応募プランへの支援実績（第1回～第6回） **（2019年9月30日現在）**

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第６回	合計
応募件数(件)	382	217	258	298	420	340	1,915
表彰件数(件)	13	13	13	13	18	18	88
創業・第二創業を行った件数(件)	10	4	2	7	6	4	33
ファンドによる出資(件/百万円)	4/136	4/139	2/110	0/0	1/100	0/0	11/485
補助金申請支援(件)	25	10	6	20	13	8	82

応募件数推移





表彰式（2019.4.24）

外部機関と連携した支援

○クラウドファンディング活用希望先の紹介に関する連携

2018年9月に当行は株式会社マクアケ、株式会社CAMPFIREと、両社が運営するクラウドファンディング※サイトへプロジェクト候補先を紹介する業務提携契約を締結しました。
本提携にともない、当行のクラウドファンディング運営会社との提携は2016年6月に提携した株式会社上毛新聞社含め3社となります。本取組みを通じ、当行は取引先の新商品・新サービスの開発支援や、新たな資金調達手段の提供など、多様なニーズに向けた事業支援・成長支援を行ってまいります。
なお、これまでに当行よりお取引先企業15社を紹介し、2社がプロジェクト成約に至っております。

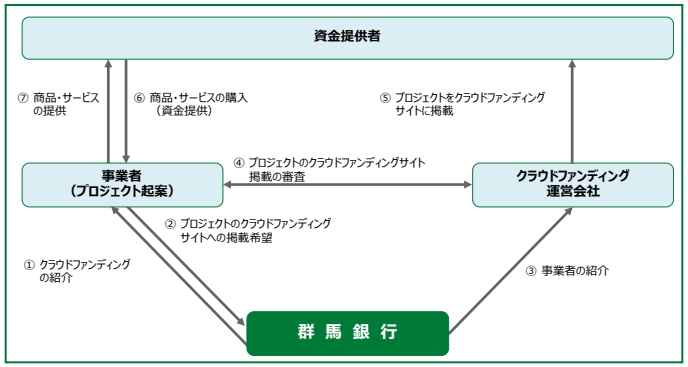
※クラウドファンディングの仕組み

- インターネットを通じて事業者が不特定多数の人にプロジェクトを宣伝し、資金提供者として賛同を得た人々から小口の資金調達を受け、プロジェクトを実現していく仕組み
- 当行が提携するクラウドファンディングは全て「購入型クラウドファンディング」であり、資金提供者は資金提供に対するリターンとして、プロジェクトに関する物品・サービス等を受け取る

●提携するクラウドファンディング運営会社

提携年月	提携企業名	所在地	クラウドファンディングサイト名
2016年6月	株式会社上毛新聞社	群馬県前橋市	「ハレブタイ」
2018年9月	株式会社マクアケ	東京都渋谷区	「Makuake」
2018年9月	株式会社CAMPFIRE	東京都渋谷区	「CAMPFIRE」

●業務提携内容のイメージ



○創業（予定）者を対象とした資金支援

2018年11月より、群馬県信用保証協会もしくは株式会社日本政策金融公庫と協調して行う創業支援融資制度の取扱を開始しております。本制度を通じて、創業予定者または創業者を対象に資金支援を行っております。

（３）成長段階における支援への取組み

個々の取引先企業のニーズや、さまざまな業種に対応したセミナー等を開催いたしました。

各種セミナー

セミナー名	開催日	開催場所	参加人数
企業の生産性向上等に役立つ補助金活用セミナー	2019年4月17日	前橋市	98名
事業承継「個別相談会」	2019年5月28日	前橋市	企業6社
医療ＯＢ向けセミナー	2019年7月10日	前橋市	10名
事業承継「個別相談会」	2019年9月12日	渋川市	企業7社
第2回群馬銀行オープンイノベーションセミナー＆商談会	2019年9月24日	前橋市	100名

第2回群馬銀行
オープンイノベーションセミナー
(2019.9.24)

中小企業活性化支援サービス

中小企業基盤整備機構・群馬県産業支援機構等と連携し、外部専門家と経営課題の解決に向けた相談等を通じて、お客さまの本業支援に取組んでまいりました。本サービスの一環として、前年度に引き続き「群馬県よろず支援拠点 出張経営相談会」を開催いたしました。

○「群馬県よろず支援拠点※出張経営相談会」

開催場所	開催日	参加
大泉支店	2019年 6月12日	9社
安中支店	2019年 7月19日	8社

※ 国が全国に設置し、中小企業・小規模事業者の売上拡大、経営改善など、経営上のあらゆる悩みの相談に対応する機関。

○ 外部支援機関の活用

外部支援機関	件数
群馬県よろず支援拠点	20件
群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点	2件
群馬県信用保証協会※	0件
中小企業庁（ミラサポ）	7件
民間コンサルティング会社	0件
計	29件

※国の信用保証協会中小企業・小規模事業者経営支援強化促進補助金事業を活用

ワンストップ型支援態勢

「法人コンサルティング推進班」と営業店が連動したワンストップ型支援態勢※を構築し、お取引先企業が抱えるさまざまな経営課題について、営業店行員と解決に向けて取組んでおります。

※顧客企業の利便性向上のため、一つの窓口を通じて様々な相談やサービス提供を行い、迅速に対応できる態勢のことです。

補助金デスク

○補助金

経営革新等支援機関として、有益な補助金等の情報を提供するとともに、補助金申請の支援を行ってまいりました。申請支援による主な採択状況は次のとおりです。

平成30年度補正予算「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」:当行申請支援による採択件数46件

○利子補給金制度

取引先の潜在化する設備ニーズの喚起を図るため、有益な利子補給金の情報を提供するとともに、利子補給金申請の支援を行ってまいりました。申請支援による主な採択状況は次のとおりです。

平成31年度「省エネルギー設備投資に係る利子補給金」: 当行申請支援による採択件数1件

外部機関と連携した支援

○独立行政法人日本貿易振興機構　群馬貿易情報センター（ジェトロ群馬）との連携

当行は20年超にわたるジェトロ会員として、セミナー共催や情報収集などでジェトロを活用してきましたが、2018年7月のジェトロ群馬開設以降は、商談会やセミナーの共催、当行の海外拠点がない地域でのジェトロによる現地フォローなどを通じて、取引先の海外展開ニーズにお応えしております。　また、2018年10月より、ジェトロ群馬へ当行行員を派遣しております。これにより、ジェトロと当行がより一層の連携関係を構築することで、群馬県経済の活性化に貢献するとともに、取引先企業の海外展開支援に積極的に取組んでまいります。

○株式会社群馬スポーツマネジメント・株式会社草津温泉フットボールクラブとの業務提携（2019年7月）

2019年2月に業務提携した株式会社群馬プロバスケットボールコミッション（プロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」の運営会社）に引き続き、株式会社群馬スポーツマネジメント、株式会社草津温泉フットボールクラブとの業務提携を開始しました。

今般の業務提携により、当行は、群馬のプロスポーツ３団体と業務提携契約を締結することになりました。

株式会社群馬スポーツマネジメントは、プロ野球独立リーグ「ルートインＢＣリーグ」に所属する「群馬ダイヤモンドペガサス」の運営会社です。また、株式会社草津温泉フットボールクラブは、日本プロサッカーリーグのＪ３に所属する「ザスパクサツ群馬」の運営会社です。

当行は、「群馬ダイヤモンドペガサス」および「ザスパクサツ群馬」への協賛を希望するお取引先企業を各運営会社へ紹介することで、地域のスポーツ振興と発展、地域の活性化に貢献してまいります。

地域活性化ファンドを活用した成長マネーの供給

成長マネーの供給手段のひとつとして、次の地域活性化ファンドを設立・活用しております。
今後もファンドによる出資を通じて、地域経済活性化・地方創生に貢献してまいります。

名称	出資実績【累計】	投資対象
ぐんま医工連携活性化ファンド （ファンド総額：8.6億円）	3件/377百万円 （2014.11～2019.9）	医療産業の振興に資する、ものづくり企業を中心とした中小企業等
ぐんぎんビジネスサポートファンド （ファンド総額：5億円）	9件/320百万円 （2015.5～2019.9）	将来の事業発展が期待できる中小企業等 （製造業、流通業、サービス業をはじめ、環境・エネルギー、農林業など幅広い事業分野を対象）
ぐんぎんビジネスサポート2号ファンド （ファンド総額：5億円※）	3件/200百万円 （2017.3～2019.9）	ぐんぎんビジネスサポートファンドの投資対象および産学連携の取組みを通じた大学発ベンチャー企業
計	15件/897百万円	

※ 最大10億円まで増額可能

項目		企業概要	主な事業一覧
投資先名	株式会社　グッドアイ	・群馬大学教授である板橋英之氏が設立した群馬大学発ベンチャー企業 ・群馬大学が保有する技術・特許を活用し事業展開を企図 ・個別事業毎に群馬大学と特許に関する独占実施契約を締結しライセンス料を受け取るビジネスモデル	 ウッドチップブロック事業 土壌改良事業
設立	2017年11月17日		
所在地	桐生市天神町		
出資額	100百万円		

産学官連携

○群馬大学との連携
2016年8月に群馬大学と締結した産学連携協定に基づき、当行と群馬大学がそれぞれ持つ技術・ノウハウ等を共有し、シナジー効果や地域におけるイノベーションを創出することで、地域経済活性化や地方創生に貢献してまいります。

○連携協定事項に基づいた主な活動内容（2019年4月～9月）
（1）産学連携ニーズのある当行取引先の紹介
紹介実績件数：9件
主なニーズ内容：ピッキング・画像認識処理技術（製造業）、健康食品の開発（食品製造業）
（2）学生の地元企業への就職促進
群馬大学生の地元企業の就職を促進するため、取引先企業を就職担当教員へ紹介
紹介実績件数：２社

オープンイノベーションセミナー＆商談会

○オープンイノベーションセミナー＆商談会の開催（開催日：2019年9月24日）
ぐんぎん経営倶楽部の会員企業が持つ新技術や生産現場の課題等をダイキン工業、サンデン・リテールシステム、富士通に対して提案・相談することでオープンイノベーションによる新たな技術開発、製品化の推進を図り、新規取引や協力関係の構築を目指しております。

ぐんぎんビジネスマッチングシステムの導入

○「ぐんぎんビジネスマッチングシステム」の導入
2019年9月より、コンサルティング営業力の強化と事務の効率化を目的に、「ぐんぎんビジネスマッチングシステム」を導入しました。本システムの導入により、お取引先企業のニーズ案件情報をデータベース化することで、より高度なビジネスマッチングの実現を図ってまいります。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み状況

○当行は、「経営者保証に関するガイドライン」（2013年12月5日「経営者保証に関するガイドライン研究会」より公表。）の趣旨を十分に踏まえ、経営者と保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しのお申入れがあった場合、および保証債務の整理を申立てられた場合などには、本ガイドラインに基づき、誠実かつ柔軟に対応するよう努めております。

○さらに、当該対応が当行の融資慣行として浸透・定着するよう努めております。2019年9月末までの取組状況は、以下のとおりです。

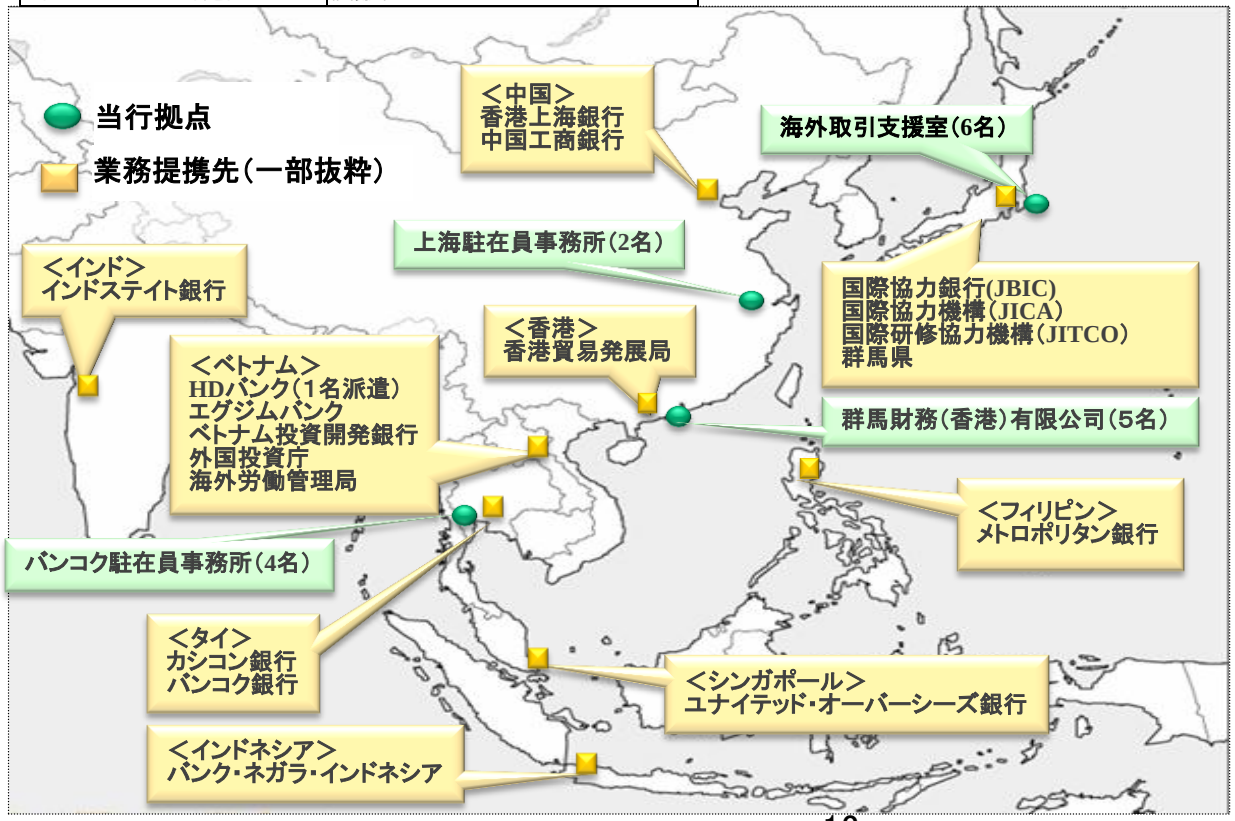
取組状況

	2016年度 下期	2017年度 上期	2017年度 下期	2018年度 上期	2018年度 下期	2019年度 上期
新規融資件数（無保証）	1,707件	2,727件	2,854件	3,065件	2,849件	3,156件
新規融資件数	12,822件	15,109件	14,622件	14,261件	13,036件	12,857件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	13.31%	18.05%	19.52%	21.49%	21.85%	24.55%
事業承継時の保証徴求割合（前経営者・後継者双方）	33.70%	19.90%	25.00%	6.43%	1.14%	1.22%
同（前経営者のみ）	21.91%	16.01%	6.12%	15.02%	16.57%	30.08%
同（後継者のみ）	39.32%	56.79%	59.69%	70.81%	68.00%	60.97%
同（双方保証徴求せず）	5.05%	7.28%	9.18%	7.72%	14.28%	7.72%

「海外拠点ならびに業務提携先を活用した海外展開支援ネットワーク

海外進出支援態勢

当行拠点	業務内容
海外取引支援室	国際業務支援（貿易取引・海外進出のサポート、為替リスクヘッジの提案など）
ニューヨーク支店	銀行取引全般
群馬財務（香港）有限公司	金融・証券業務
上海駐在員事務所	現地サポート、金融・貿易関連の情報発信
バンコク駐在員事務所	現地サポート、金融・貿易関連の情報発信
ベトナム・ＨＤバンク派遣トレーニー	情報提供



セミナー・商談会等（2019年度上期）

＜ 国内 ＞
2019年4月（高崎市）
「第4回 群馬銀行海外派遣行員現場報告会」開催

＜ 海外 ＞
2019年5月（バンコク）
「タイ日系企業ビジネス交流会」共催

2019年6月（バンコク）
「Mfairバンコク2019ものづくり商談会」共催

2019年7月（ホーチミン）
「ホーチミン企業交流会」共催

セミナーの開催による海外展開情報の提供

当行は、セミナーを開催して、お取引先の海外展開に役立つ情報を提供しています。
2019年度上期は、「第4回 群馬銀行海外派遣行員現場報告会」を開催し、当行の海外拠点長・派遣行員、およびジェトロ群馬出向者が、お取引先に対して現地の最新事情やジェトロ群馬の取組事例をお伝えいたしました。
お取引先にも影響を及ぼしている米中貿易摩擦の動向とその実態とともに、初の試みとなったパネルディスカッション方式で中国・アジアへの群馬県産品の進出状況や直面する課題を報告いたしました。
海外拠点長・派遣行員の体験を通じた「生きた」情報をお伝えしたことにより、ご参加いただいた皆様からは、大変好評を博しました。

第4回 群馬銀行海外派遣行員現場報告会
○開催日　2019年4月4日
○会場　高崎商工会議所（高崎市）
○参加者　58社77名

（４）金融円滑化と経営改善支援への取組み

取引先企業に対する金融の円滑化・経営改善支援は、地域経済の活性化に貢献するものとして、本部・営業店が一体となり積極的に取組んでおります。

○経営改善計画の策定支援

審査部審査業務室が中心となって、取引先企業に対して経営改善計画策定などに関する支援や助言を行うなど、コンサルティング機能の一層の発揮に努めております。

条件変更を実施した主要な先	343先
うち計画策定先（策定中含む）	230先 （策定率67.0%）

※2019年9月30日現在

○外部機関・外部専門家との連携

支援にあたっては、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構、経営革新等認定支援機関など外部機関・外部専門家との連携を図り、支援の実効性を高めております。

○各種支援手法の活用

取引先企業の経営状況に応じ、ぐんま中小企業再生ファンド、DDS（資本性借入金）、ABL（債権・動産担保融資）などの手法を活用した抜本的な再生支援に取組んでおります。

○事例紹介

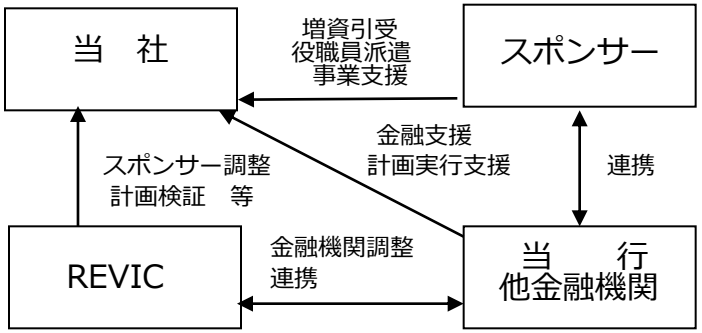
①当社は北関東を中心に多店舗展開する小売業者。同業他社やインターネット経由での販売普及等による競争激化により収益性が悪化。

②当社と当行、スポンサー企業で協議のうえ、地域経済活性化支援機構（REVIC）の企業再生スキーム申込みを決意。

③当行の金融支援ほかスポンサー企業による増資引受等を実施。

④計画開始から間もないが、概ね計画通りに業績・財務とも改善。今後も進捗サポートを継続中。

＜スキーム図＞



（５）事業承継への取組み

○営業店と本部が協働し、取引先企業の事業承継・Ｍ＆Ａニーズの把握に努め、外部専門家と連携しながら、適切な提案・アドバイスを行っております。
○セミナーを通じて、お客さまへ最新の事業承継とＭ＆Ａに関する情報を提供しております。

	セミナーの開催	ニーズ喚起	課題・ニーズの発掘	課題・ニーズの解決	
群馬銀行	最新の情報に基づいた、事業承継セミナーや個別相談会、Ｍ＆Ａセミナーを開催します。	セミナーを通じて事業承継・Ｍ＆Ａの必要性を認識していただきます。	当行専担者が個社別に訪問し現状把握と課題の整理を行います。	課題・ニーズにあった、適切な提案等を行います。必要に応じて専門家等への橋渡しを行います。	取引先企業

○外部提携先との連携
事業承継に関わる各社各様の課題解決を支援するため、2019年度上期で117社のお客さまに対し当行提携の外部専門家を紹介し、取引先企業の課題解決を支援いたしました。
<主な提携先>
デロイトトーマツ税理士法人　山田コンサルティンググループ株式会社　群馬県事業引継ぎ支援センター
株式会社日本M&Aセンター　株式会社ストライク

○後継者不在の取引先へのM&Aによる事業承継支援
当行単独での支援、提携先の外部専門家により、2019年度上期で7社の後継者不在のお取引先をM&Aにより事業承継支援いたしました。

○取引先向けにＭ＆Ａセミナーを開催
2019年5月24日にエテルナ高崎にて「Ｍ＆Ａを活用した成長戦略セミナー」を開催いたしました。講師に株式会社日本M&Aセンター、株式会社事業承継ナビゲーター、ミニメイドサービス株式会社の方々を迎え、合計35社36名の方に参加いただきました。

○ほけんの窓口グループ株式会社と「Ｍ＆Ａに係る業務提携契約」を締結
2019年7月26日にほけんの窓口グループ株式会社と「Ｍ＆Ａに係る業務提携契約」を締結いたしました。なお、同内容に関するほけんの窓口グループ株式会社と金融機関との提携は全国初となります。

３．地域の面的再生への積極的な参画

（1）地方創生への取組み

営業店の地方創生推進窓口責任者と本部関連部署の連携強化により、地方公共団体に対する支援を積極的に行っております。さらに、包括連携協定締結先へは、企業誘致や定住促進・雇用創出・観光促進等の具体的な提案を行い、地方公共団体と一体となり、地方創生に取組んでおります。

地域経済への支援項目	当行が行っている主な支援施策
地域資源を活用した起業、創業の事業化支援	中小企業活性化支援サービス ぐんぎんビジネスサポート大賞 ・ファンド ・補助金デスク ・PFI事業支援
地元企業の雇用創出につながる生産性の向上支援	事業性評価に基づく最適なソリューションの提供 ぐんぎん新現役交流会
再出発に向けた環境整備、事業承継支援等	事業承継・Ｍ＆Ａの専担者配置

県内自治体との包括連携協定の締結状況

1県8市2町と提携

(群馬県、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、渋川市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、大泉町)

包括連携に基づく具体的施策

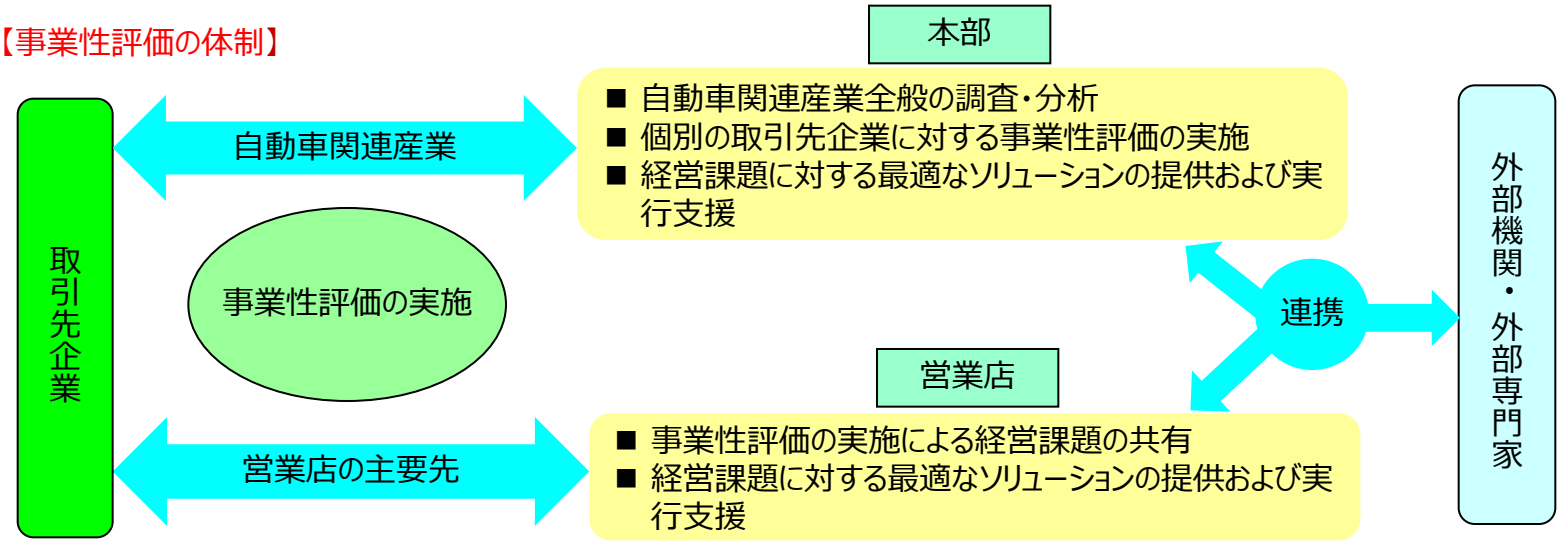
「群馬県よろず支援拠点　出張経営相談会」開催
・2019年6月　大泉町と共催
・2019年7月　安中市と共催

（２）事業性評価に基づく最適なソリューション提供

地域の基幹産業である自動車関連産業については、本部専担者が取引先企業を訪問し、事業性評価を行うとともに、自動車関連産業全般の調査・分析を実施しております。また、営業店では、取引先企業と経営課題の共有を行い、最適なソリューションの提供を行っていくため、事業性評価を実施しております。

- これまでに、自動車関連産業は16先、営業店の取引先企業は1,229先の事業性評価を行ってまいりました。
- 経営者との対話を通じた事業性評価により共通認識された経営課題に対して、本支店一体となって最適なソリューションの提供を実施してまいります。

【事業性評価の体制】

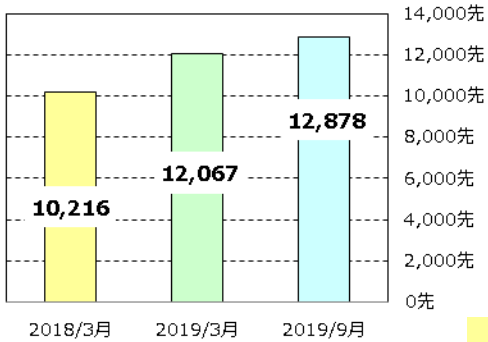


（3）地域と一体になった地域活性化への取組み

「ぐんぎん経営倶楽部」を通じた地域貢献

法人向け会員組織「ぐんぎん経営倶楽部（入会金・年会費無料）」を通じ、定期的に経営に有益な情報を発信しております。また、各種イベントを開催し、新たな情報提供や人脈形成の場を提供しております。こうした企業経営のサポートを通じ、地域経済活性化に取組んでおります。また、「ぐんぎん経営塾」の開講を通じて、次世代を担う後継者の育成に努めております。

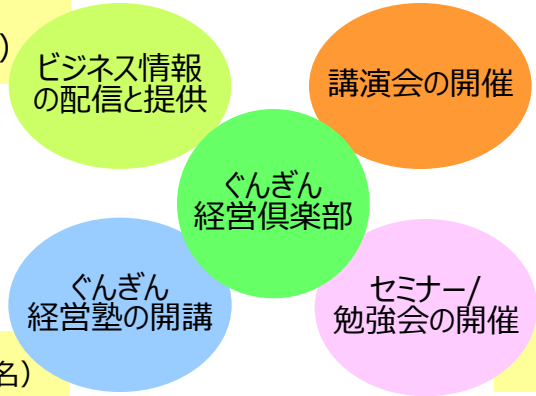
会員数の推移



ぐんぎんBusiness Report
(毎週水曜日　計24回配信)

第７期ぐんぎん経営塾

第7期塾生25名
（第1期～第6期修了生148名）



セミナー/勉強会
10テーマ/参加 592名

○セミナー/勉強会の開催

開催日	テーマ	参加人数	開催日	テーマ	参加人数
2019年4月 9日	「労務管理講座 ～雇用ﾄﾗﾌﾞﾙ防止と働きやすい職場の実現～」	30名	2019年7月 2日	「会社は社員のものであり、お客様のもの ～社員の成長が企業の成長～」（講演形式）	80名
2019年4月～６月	「中期経営計画・ビジョン策定講座」（全3回）	34名	2019年7月23日	「女性ﾘｰﾀﾞｰ育成講座」	48名
2019年5月28日	「経理担当者育成講座（基礎編） ～これだけは知っておきたい！経理実務入門～」	64名	2019年8月20日	「若手社員育成講座 ～若手社員の自己革新のために～」	64名
2019年6月 7日	「経理担当者育成講座（ステップアップ編） ～ﾜﾝﾗﾝｸ上の、社長の右腕たる財務経理 担当者を目指して～」	48名	2019年9月19日	「中堅社員育成講座(卸小売サービス業向け) ～自ら考え、行動できる自律型ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰを目指して～」	51名
2019年6月14日	「潰れない会社を作る！ これからの経営者に求められる考え方・心構え」（講演形式）	73名	2019年9月24日	「第２回群馬銀行オープンイノベーションセミナー」	100名

寄付を通じた地域貢献活動

2018年11月より取扱いを開始した「ぐんぎんSDGs私募債（寄付先支援型）」を通じ、寄付・寄贈を通じてSDGs達成へ貢献したいニーズのある企業向けに、私募債発行手数料の一部を、SDGsの取組みを行っている団体等へ寄付する取組みを行ってまいりました。

群馬銀行は、2019年２月26日に「群馬銀行グループSDGs宣言」を制定いたしました。従来から取組んできた地域貢献活動や地域経済活性化への貢献に加え、本商品を通じ、地域全体でのSDGs達成に向けた取組みをリードしていきたいと考えております。寄付実績は次のとおりです。

〈寄付金額〉2019年4月～2019年9月　60件　8,465,223円

ぐんぎんSDGs私募債
寄付金贈呈式(2019.7.22)

○世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保護活動を支援する投資信託 「富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド 愛称：群馬の絹遺産」の運用を通じて収受した運用管理費用(信託報酬)の一部を、群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金へ第５回目の寄付(1,022,692円)を行いました。
（第1回～第5回の寄付金累計額6,771,968円）

○尾瀬の自然環境保護を後世まで末永く守り続けることを目的とした投資信託「自然環境保護ファンド 愛称：尾瀬紀行」の運用を通じて収受した運用管理費用(信託報酬)の一部を、公益財団法人尾瀬保護財団へ第13回目の寄付(960,109円)を行いました。
（第1回～第13回の寄付金累計額14,793,044円）

※寄付金は群馬銀行グループ（株式会社群馬銀行、ぐんぎん証券株式会社）の合算となります。

富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド
（愛称：群馬の絹遺産）
贈呈式(2019.8.26)

（4）地域活性化につながるビジネスマッチング情報等の提供

当行では、「食」や「観光」「ものづくり」のＰＲを通じて地域産業振興や地域経済の活性化を図るため、商談会のビジネスマッチング等の場の提供をしております。地域の「強み」となり得る地域資源を群馬県内外に発信していく支援を通じて「地方創生」にも貢献を行っております。

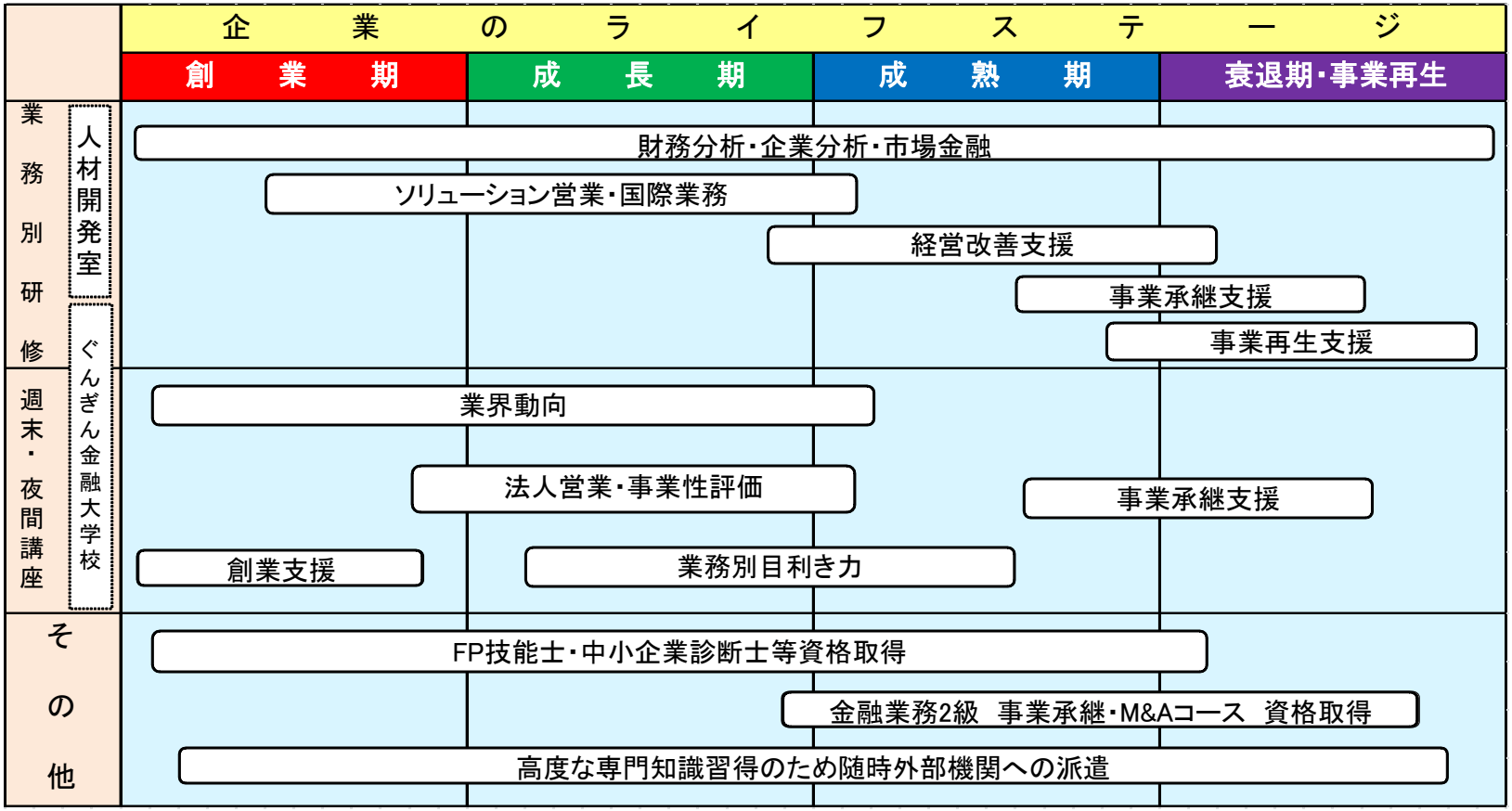
名称（主催者）	開催日	開催場所	参加社数	来場者数	個別商談数
おいでよ！北関東！いばらき・とちぎ・ぐんまフェア2019(茨城県・栃木県・群馬県・常陽銀行・足利銀行共催)	2019年 9月28日、29日	東京スカイツリータウン (東京都)	61団体 (内群馬29団体)	約54,000人	個別商談なし
地方銀行フードセレクション2019 (地方銀行55行共催)	2019年 9月19日、20日	東京ビッグサイト (東京都)	1,031社 (内当行21社)	約13,000人	589件 (内当行5件)

2019.9.28 おいでよ！北関東！いばらき・とちぎ・ぐんまフェア2019

2019.9.19 地方銀行フードセレクション2019

（５）人材育成への取組み

取引先企業のライフステージに応じたコンサルティングを行うことができる行員を育成するために、業務別研修や、週末講座、夜間講座等を実施しております。また、専門知識の習得のために各種資格取得を奨励し、積極的に行員を行外研修へ派遣しました。



４．地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域の皆さまに役立つ金融サービスの提供

「太田市空家等除却応援住宅ローン」の取扱い継続（2019年4月）

太田市が空家の除却に要する費用の一部を補助する「太田市空家等除却補助事業」に協力し、2019年度も「空家等除却応援住宅ローン」の取扱いを継続しております。太田市が行う同事業の補助金を利用して、空家除却後に住宅の新築または増改築を予定している方を対象とし、受給予定の補助金を自己資金とみなした特例審査を実施するとともに、お借入後に残高の一部を返済する「一部繰上返済」を行う場合の手数料を無料としております。

「きりゅう暮らし応援住宅ローン」の取扱い継続（2019年4月）

桐生市が市内への定住促進のために、住宅の建築、購入を行う方へ住宅取得費用の一部を補助する「きりゅう暮らし応援事業住宅取得応援助成）」に協力し、2019年度も「きりゅう暮らし応援住宅ローン」の取扱いを継続しております。桐生市が行う同事業の補助金の受給を予定している方を対象とし、受給予定の補助金を自己資金とみなした特例審査を実施するとともに、お借入後に残高の一部を返済する「一部繰上返済」を行う場合の手数料を無料としております。

SNSにおける情報発信（2019年6月）

2017年4月に開設した公式LINEアカウントに加え、2019年6月に公式Twitterアカウントを開設しました。友だち登録やフォローしていただいているお客さま向けに、当行のキャンペーン・セミナー・商品サービス等の情報を発信しております。また、群馬県と締結した地域活性化包括連携協定に則り、県内のイベント・観光情報等をお客さまへ発信することで、地方創生・地域経済の活性化に資する活動を行っております。

資産形成・資産運用セミナーの開催

顧客本位の業務運営に基づく取組みの一環として、お客さまの資産形成に資する情報の提供や金融リテラシーの向上、アフターフォロー等を目的とする無料の各種セミナーを開催いたしました。

多くのお客さまにご参加いただけるよう、平日昼間だけではなく、平日夜間や休日にも開催いたしました。

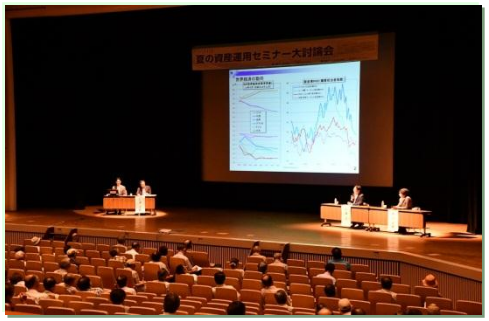
○夏の資産運用セミナー

「人生100年時代を迎えるにあたり、私たちは何をすべきか？」をテーマに、著名人3名によるパネルディスカッション形式のセミナー大討論会を開催いたしました。

○ぐんぐんマネー塾

これから資産形成をはじめたいとお考えのお客さまや資産運用をもう一度基礎から学びたいお客さまを対象に、「これからお金を貯める世代」と「貯めたお金をこれから使う世代」の2クラスに分けて、１からじっくり基礎知識をお伝えする塾形式のセミナー（初級編全５回）を開催いたしました。テーマについても「必要性編」「ふやす編」「見直す編」と３段階に分けることで、既存先のみならず資産形成層や資産運用未経験者など、幅広いお客さまにご参加いただきました。
また、初級編よりもステップアップしたい方のご要望にお応えし、中級編セミナーも開催いたしました。20代～40代の「これからお金を貯める世代」を対象とし平日夜間に、50代～70代の「貯めたお金をこれから使う世代」を対象として休日の午後に開催し、多くの働く世代のお客さまにご参加いただきました。

○ママのためのマネー塾

現在の家計や将来のお金について悩みや不安の多い子育てママ世代のお客さまを対象に、無料託児サービス付で塾形式のセミナー（全3回）を開催いたしました。

夏の資産運用セミナー(2019.8.29)